

【予算案等提案理由】

続いて、今回提案いたします新年度予算案について申し述べます。

一般会計のほか、9件の特別会計、2件の公営企業会計の予算案を上程しております。いずれも、厳しい財政状況を考慮しつつ、主要施策として申し上げました取り組みを進めるため、予算を編成したところであります。

新年度一般会計当初予算の総額は、227億9百万円となり、対前年度5億円、2.2%の減となっております。

前年度予算と比べた主な増減事由を申しあげますと、増額要因としては、次期可燃ごみ処理施設整備に係る負担金の1億8千3百万円の増額をはじめ、大田総合体育館などの都市公園の整備事業1億4千2百万円、街路整備事業1億2千8百万円、農業農村整備事業1億1千4百万円、子どものための教育・保育給付事業8千9百万円、病院事業会計負担金8千3百万の増加が主なものとなっております。

これに対し、減額となっております要因は、まちづくり推進基金の新規積立金1億6千1百万円の減をはじめ、過年災害にかかる災害復旧費1億4千4百万円、臨時福祉給付金給付事業1億4千万円、出雲エネルギーセンター可燃ごみ処理負担金1億2千6百万円、仁摩地区道の駅整備事業1億1千7百万円、民間保育所施設整備支援事業1億1百万円の減額が主なものとなっております。

当市の財政事情は、収入に占める市税の割合は15%に過ぎず、また、収入の多くを依存している地方交付税についても、今後大幅な減額となることが見込まれ、今後の財政運営は、厳しさを増すことが予想されます。当市においては、事業の

選択と集中を徹底し、財政健全化に向けた取り組みも強化しているところであり、当初予算の編成にあたっては、市が独自に使える、いわゆる一般財源のうち、義務的経費を除いたものについて、対前年度比 10%削減を念頭に行ったところであり、ります。

可能な限り、市民生活に影響が出ないよう国県補助金や有利な起債の活用、各種基金の取り崩しなどで対応いたしておりますが、結果として、市民や団体の方々にご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。事情をご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項等については、これに留意しながら予算編成を行ったところであり、その対応状況については、お手元に調書を配布いたしております。

次に、平成 29 年度の補正予算案については、一般会計のほか、5 件の特別会計、2 件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程いたしております。

一般会計については、除雪事業の増額や各種基金への積立金の増減などにより、総額 9 千万円余の増額補正をお願いするもので、補正後の一般会計の予算総額は 242 億 5 千 7 百万円余となっております。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案を本会議に提案いたしております。詳細については、主管部長並びに担当課長に説明させますので、何とぞ、慎重にご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。